

# 全国学力・学習状況調査について

泉佐野市立上之郷小学校

## 1. 調査の目的

- 国が、全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における児童生徒の学力・学習状況をきめ細かく把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

## 2. 調査実施日

平成27年4月21日（火）

## 3. 調査の対象

小学校第6学年，全児童

実施児童数（37人）

## 4. 調査の内容

### (1) 学力に関する調査

ア 教科は、国語・算数及び理科。

イ 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、主として知識・技能に関する内容（A問題）と、それらを活用する力などに関する内容（B問題）とする。

ウ 出題形式については、選択式及び短答式に加え、記述式の問題とする。

### (2) 学習状況に関する調査

調査する学年の児童を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関するアンケート調査（以下「児童アンケート調査」という。）を実施する。

### (3) 学校の取組みに関する調査

調査対象の児童が在籍する学校を対象に、学校における教育条件の整備状況や指導方法等に関するアンケート調査（以下「学校アンケート調査」という。）を実施する。

平成27年度全国学力・学習状況調査の分析（国語）

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国とほぼ同じ状況であるが、全国と比べて上位層が少ない。  
平均正答率（本校 69.8／泉佐野市 66.7／大阪府 67.6／全国 70.0）

「B区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国とほぼ同じ状況にあるが、全国と比べて上位層がやや少なく下位層がやや多く分布している。  
平均正答率（本校 60.6／泉佐野市 59.2／大阪府 62.7／全国 65.4）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

国語A	特徴がみられた設問
<p>【話すこと・聞くこと】</p> <p>○話の内容に対する聞き方を工夫することに課題がある</p> <p>③ 聞き方の説明として適切なものを選択する。 (42.9/53.0)</p> <p>【読むこと】</p> <p>○新聞のコラムを読んで、表現の工夫を捉えることに課題がある。</p> <p>⑤ どのような課題が取り上げられているか筆者の考えを問う (54.3/59.5)</p> <p>○全体に無回答がほとんどない。 (0/4.3)</p>	

国語B	特徴がみられた設問
<p>【書くこと】</p> <p>○ 1ー 目的に応じた新聞の割り付けを正しく選択することができる (80.0/72.2)</p> <p>● 1三 目的に応じ、文章の内容を的確に押さえながら要旨を捉えることに課題がある。 (11.4/30.0)</p> <p>● 2二 文章の内容を判断して自分の考えを書くことに課題がある (42.9/53.6)</p> <p>○ 3一 登場人物の行動を基にして場面の移り変わりを捉えることができる (65.7/58.2)</p>	<p>● 3二 声に出して読む工夫は理解できているが登場人物の気持ちの変化を想像することに課題がある (54.3/62.4)</p>

### 3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
国語の勉強は好きですか	57.1	61.1		4.0
国語の勉強は大切だと思いますか	97.1	92.0	◇	5.1
国語の授業の内容はよくわかりますか	91.4	82.0	◇	8.6
読書は好きですか	74.3	72.8		1.5
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出た時に役に立つと思いますか	94.3	88.6	◇	5.7
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	80	65.2	○	14.8
国語の授業で意見などを発表する時、上手く伝えるように話の組み立てを工夫していますか	68.6	61.2	◇	7.4
国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由がわかるように気を付けて書いていますか	82.8	72.7	○	10.1
国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめごとに内容を理解しながら読んでいますか	74.3	77.2		2.9
今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありました。どのように解答しましたか	91.4	77.4	○	14.0

○国語の勉強は大切だと思っている児童が多い。

○国語の授業の内容がよくわかっている児童が多い。

○10項目中7項目で、全国との差が5%以上高いとよい結果が出ている。

○目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり書いたりしている児童の割合が昨年に比べて大幅に上がっている (H26 57.1)

○解答を文章で書く問題で解答を書いている児童の割合が昨年に比べて大幅に上がっている。  
(H26 73.8)

平成27年度全国学力・学習状況調査の分析（算数）

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じであるが、全国と比べ上位層がやや少なく、中位層がやや多く分布している。

平均正答率（本校 78.6 / 泉佐野市 73.5 / 大阪府 74.8 / 全国 75.2）

「B区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じであるが、全国に比べるとやや低位層に偏りがある。

平均正答率（本校 43.7 / 泉佐野市 40.8 / 大阪府 44.1 / 全国 45.0）

2. 学力状況調査より（本校正答率 / 全国正答率）

算数A	特徴がみられた設問
<p><b>【数と計算】</b>                      ○単位となる少数の幾つ分で、少数の大きさを表すことにやや課題がある。                      1 (2) 5. 21 + 0. 7は0. 01が何個集まった数かを表すための式として、ふさわしい数値の組み合わせを書く (68.6 / 74.3)                      ・0. 7を誤って「7」としていることから、0.0. 1を単位とせず、小数点を外しているものと考えられる。</p> <p>○繰り上がりのある2位数の加法の計算は概ねできている。                      2 (1) 28 + 72を計算する。(100 / 98.2)</p> <p>○除法が整数である場合の分数の除法の計算にやや課題がある。                      2 (4) 5 / 6 ÷ 7を計算する。(82.9 / 84.2)                      ・無回答 (5.7) や誤答からみると、分数の乗法の計算の仕方、大きさの等しい分数、わり算の計算のきまりなどの定着に課題がある児童がいる。</p>	<p>○180度よりも大きい角のおよその大きさを、2直角、3直角を基に捉えることにやや課題がある。                      4 (1) 90度、180度、270度、360度を基準として角の大きさを見当付けたものから正しいものを選ぶ。                      (71.4 / 81.3)                      ・誤答からみると、角の測定場所を間違っていると考えられる。(360度 - ⑦の部分測定している)</p> <p>○示された三角形が二等辺三角形になる根拠となる円の性質を、選択することに課題がある。                      5 (1) 円の中心と円周上の二点を頂点とする三角形の角の大きさを求める。(48.6 / 50.6)                      ・円の性質と二等辺三角形の特徴を関連付けずに、円の特徴のみを選択していると考えられる。</p>

算数B	特徴がみられた設問
<p><b>【図形】</b>                      ○平行四辺形の性質は概ね理解できており、1 (1) についてはどの児童も理解している。(100 / 95.2)                      ○3 (1) の正三角形の性質については、全国や府より正答率が高く理解できている。(37.1 / 32.5)                      ○示された二組の道のりが等しくある根拠として、図形を見出し、その図形の性質を記述することに課題がある。(14.3 / 27.7)                      ○示された図において分割された二つの図形の面積が等しくなるわけを書くことに課題がある。(5.7 / 12.5)</p> <p><b>【数と計算】</b>                      ○四捨五入して、千の位までのおよその数にして計算することについては、正答率が全国平均より高く理解できている。(60.0 / 52.6)                      ○概数を用いた見積もりの結果とそれに基づく判断を理解し、3000個集めればよい理由記述することに課題がある。(14.3 / 22.3)</p>	<p><b>【量と計算】</b>                      ○単位量あたりの大きさを用いて目的に応じた買い物の仕方を選択し、代金を求めることは概ねできている。(74.3 / 64.8)</p> <p><b>【数量関係】</b>                      ○示された情報から基準量を求める場面と捉えた比較量と割合から基準量を求めることに課題がある。(2.9 / 13.1)                      ○示された割引の後の値段の求め方の中から誤りを指摘し、正しい求め方と答えを記述することに課題がある。(42.9 / 51.0)</p>

### 3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
算数の勉強は好きですか	88.6	66.6	○	20.0
算数の勉強は大切だと思いますか	94.3	93.1		1.2
算数の授業はよくわかりますか	85.7	81.0		4.7
算数の授業で新しい問題に出会ったとき、それを解いてみたいと思いますか	85.7	77.5	◇	8.2
算数の問題の解き方で分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	85.7	79.6	◇	6.1
算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	77.1	67.7	◇	9.4
算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	97.1	90.3	◇	6.8
算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	97.3	79.1	○	18.2
算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	94.3	80.6	○	13.7
算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	85.7	83.8		1.9
今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありましたが、どのように解答しましたか	100	97.3		2.7

○全ての項目において、肯定的な意見が多く、算数の定着が図れている。

○「今回の算数の問題について、言葉や式を使ってわけや求め方を書く問題がありましたが、どのように解答しましたか」の設問に「最後まで解答を書こうと努力した」と答えた児童の割合が高く、算数に対して意欲的に取り組む姿勢ができてきている。

## 平成27年度全国学力・学習状況調査の分析（理科）

### 1. 全体の傾向

- 平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じであるが、全国と比べ上位層がやや少なく、中位層がやや多く分布している。

平均正答率（本校 57.7 / 泉佐野市 53.6 / 大阪府 57.3 / 全国 60.8）

### 2. 学力状況調査より（本校正答率 / 全国正答率）

理科	特徴がみられた設問	
<p><b>【生命】</b></p> <p>●2（2）生物の成長に必要な養分のとり方について、仲間分けした観点を選ぶことに課題がある。 具体的には、生物が成長に必要な養分の取り方について、もともと持っている養分を使っていることを捉えていなかったり、えさや食物を摂取することと養分をつくりだすことを混同して捉えていると考えられる。 (57.1/76.3)</p> <p>●2（3）示された器具（顕微鏡）の名称を書く短答式の設問では、無回答が多かった。 (57.1/61.6)</p> <p>○2（4）顕微鏡の適切な操作方法は相当数の児童ができていない。 (54.3/37.9)</p>	<p><b>【物質】</b></p> <p>●3（3）水の温まり方について、実験結果から考え直した内容を選ぶ選択式の設問では、無回答が多かった。 (37.1/51.7)</p> <p><b>【地球】</b></p> <p>●4（5）水が水蒸気になる現象について、その名称を書くことに課題がある。 具体的に、誤答については、解答類型9の反応率が31.4%である。この中には「気体」「ゆげ」などの記述が見られた。これらは、現象と現象によって見られる事物の言葉を整理して、理解することができていないものと、考えられる。 (40.0/58.5)</p>	

### 3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
理科の勉強は好きですか	91.4	83.5	◇	7.9
理科の勉強は大切だと思いますか	97.1	86.9	○	10.2
理科の授業の内容はよく分かりますか	88.6	87.9		0.7
自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがありますか	94.3	86.9	◇	7.4
理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	91.5	69.3	○	22.2
理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	91.4	74.5	○	16.9
将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか	48.6	28.8	○	19.8
理科の授業で、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしていますか	68.6	54.9	○	13.7
理科の授業では、理科室で観察や実験をどのくらい行いましたか	94.3	90.0		4.3
観察や実験を行うことは好きですか	97.1	90.1	◇	7.0

理科の授業で、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか	85.7	75.3	○	10.4
理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えていますか	94.3	80.4	○	13.9
理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか	91.4	67.1	○	24.3

○「理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか」「将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか」「理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか」の肯定的な回答は、全国平均よりも高い回答がみられた。

○全体的に、全国平均よりも肯定的な回答が多くみられた。

○理科の授業において、実験や観察が好きで、もっとしたいと思う児童が多い。〈91.4 / 44.2〉

○理科の授業において自分の考えをまわりの人に発表することが得意な児童が多い。〈68.6 / 54.9〉

平成27年度全国学力・学習状況調査の分析（児童質問紙より）

本校の子どもたちの意識調査を、質問に対して4択で選ぶものは、選択肢1、2と3、4はそれぞれ同じ傾向と捉える。（例えば、1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない）

また、それ以外の質問は特徴的な事柄を取り出し、それらを全国と比較している。

下記の表には全国と比較して5%以上差のあるものの中で、特徴的な項目を列挙した。さらに、下線部に関しては10%以上の差のあるものを示している。

設問内容種類別の全国との比較で差が大きく特徴のある項目

設問内容種別	本校の状況	本校 < 本校 回答率 / 全国 回答率 >
【家庭生活の様子】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自尊感情をもつ児童が多い。</li> <li>・人前で発表することができると思う児童が多い。</li> <li>・地域行事によく参加している。</li> <li>・失敗を恐れず頑張ることができる児童が多い。</li> <li>・人の話を最後まで聞くことができる児童が多い。また、相手を大切にしている。</li> </ul>	<p>○（6）自分にはよいところがあると思いますか &lt;86.5/76.4&gt;</p> <p>○（7）友だちの前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか&lt;74.3/51.2&gt;</p> <p>○（27）今住んでいる地域の行事に参加していますか。&lt;65.7/36.9&gt;</p> <p>○（5）難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか&lt;65.7/25.6&gt;</p> <p>○友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか。&lt;77.1/55.8&gt;</p>
【家庭学習の様子】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭での自主学習において、計画立てての学習や読書を行なう児童が少ない。</li> </ul>	<p>●（16）10分以下&lt;62.9/35.7&gt;</p> <p>（20）家で、自分で計画を立てて勉強していますか&lt;42.8/62.8&gt;</p>
【学校での学習の様子】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友だち同士で話し合っ て学級のきまりなどを決めていると、とてもよく思っている児童が多い。</li> <li>・授業の内容がよくわかると感じている児童が多い。</li> <li>・与えられた課題を最後まで頑張ることができる児童が多い</li> </ul>	<p>○（25）あなたの学級では、学級会などの時間に友だち同士で話し合っ て学級のきまりなどを決めていると思いますか。&lt;65.7/38.7&gt;</p> <p>○（50）国語の授業の内容がよくわかりますか &lt;57.1/37.5&gt;</p> <p>○（60）算数の授業の内容がよくわかりますか &lt;60.0/46.9&gt;</p> <p>○（71）理科の授業の内容がよくわかりますか &lt;80.0/56.1&gt;</p> <p>○（57）&lt;100/97.6&gt;（68）&lt;100/97.3&gt; （82）&lt;100/96.8&gt;</p>

## 本校の取組み

### ◎これまでの取組み

- ◇チャイム着席・・・休み時間流れている音楽が止まったら教室に戻り、チャイムとともに授業を始められるよう指導。
- ◇1分間スピーチ・・・朝の会等で2人ずつ前に出て1分間のスピーチを行うことで、みんなの前で発表する力を培っている。
- ◇朝学習の充実・・・児童朝礼のある日を除き、朝の会とは別に15分間の朝学習の時間を設けている。
- ◇少人数指導・・・3年生以上の算数の授業でクラスを2分割し少人数指導を行っている。
- ◇普段の授業で、ペア学習、グループ学習など、学級の友だちとの間で話し合う活動を行い、自分の考えを発表する機会を数多く設けている。
- ◇普段の授業で、最後に学習内容を振り返る活動を行うよう努めている。

### ◎これからの取組み

1. 算数の授業の中で
  - ・ 問題を読んで、場面を言葉や図を用いて適切に表す活動を工夫する。
  - ・ 児童の素朴な表現を算数の用語を用いて的確に表現できるよう指導を充実させる。
2. 国語活動の見直し
  - ・ 漢字を読む・書く・・・年度当初は、前年度の復習から取り組む。
  - ・ 問題データベース等のプリントをくり返し活用する。
  - ・ 読書の時間の確保・・・週に1回は、学年に合った本を集中して読む（教師も一緒に）。
3. 国語の授業の中で
  - ・ 課題解決にむけて、資料などを活用した発表やまとめ学習を行っていく。
  - ・ 短い文章作りから始め、そこに条件を加えることや、分量をふやすような課題を設定する。
  - ・ 友だちの意見に対して、賛成・反対などを考えさせる時間をとり、書くことや発表する機会を設ける。
4. 家庭学習の働きかけ
  - ・ 読書活動の推進
  - ・ 自ら学ぼうとする気持ちを育て、学習習慣を身に付けることをめあてに、「家庭学習の手引き」を作成し活用する。